

### 新田川緑道に 親水路の築造を

#### 水と緑のネットワークの観点から 大いに研究の価値がある

親しみ、童謡を歌いながら歩けるような緑道を作る考えがあるか聞きたい。  
市長 この緑道で、農業用水以外で通年利用できる水源として、南町の通称、菖蒲池にある井戸があるが、この水は、都市下水路に流れ込んでいる。この貴重な水を利用して親水路を築造することは、水と緑のネットワークの充実を図る点からも大いに研究の価値があると考えている。



### 「府中ブランド・市民わがまちづくり」 支援事業(仮称)「創設の考えは

#### 先進事例を研究し 有効な支援策を検討していく

村崎 啓二議員 市長が提言する「美しく風格のあるまちづくり・府中ブランド」は、分かりやすく覚えやすい都市像と思う。この都市像の実現は、行政が推進するだけでなく、市民自らが主体となり行動することにより、市全体のものになっていくと考える。  
そこで、市民の主体性を支援するために、先進市等の事例を参考に「府中ブランド・市民わがまちづくり支援事業(仮称)」を創設すべきと考え

### 母子家庭等への就労支援策 新たに導入する考えは

#### 早期実施に向け 検討していきたい

隆 ミワ子議員 母子家庭等の経済的な自立を図る上で、就労支援策は大変重要と思う。国は、平成15年に、母子家庭自立支援給付金事業として、自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費、常用雇用転換奨励金の三事業を創設した。本市でも早期の実施が必要と考える。  
そこで、この制度導入についての市の考え、導入時期、補助率について聞きたい。  
子育て支援本部長 この三事業

### 下河原緑道の照明灯 補修や改修の計画は

#### 周辺住民の意見等を聞き 平成16年度に改修予定

池田 茂二議員 市内の緑道や遊歩道は、通勤・通学路や安心して市内散策ができる道として、多くの市民に利用されている。  
しかし、築造されてから年月が経過し、老朽化している所もあり、市長の目指す水と緑のネットワークの根幹に大きくかわることだと考える。  
特に、下河原緑道の照明灯は、部分的に暗く、大変古くなっているように思うが、具体的な補修や改修の計画があるか、市の考えを聞きたい。

環境安全部長 下河原緑道周辺には、田んぼや畑がまだ多く残っており、付近の農作物の生育に影響があるため、夜間の照明は、照度や範囲を制限している。  
しかし、照明灯の塗装の老朽化が進んでいる部分もあるので、平成16年度に改修をしていく予定になっている。  
改修に当たっては、隣接する市民の意見等を十分に確認しながら進めていきたい。



▲下河原緑道

### 子どもたちの安全対策 学校警備ボランティアの考えは

#### 先行市の情報を収集し 検討していきたい

奈良崎 久和議員 学校に不審者が侵入する事件や登下校中の子どもが襲われる事件などが、相次いで発生している。  
学校は、本来子どもたちが安心して学ぶ場所であり、危険を未然に防ぐとともに、万が一の場合にも備えるなど万全な安全



▲府中第二小学校の校庭から

管理を講ずる必要があると考える。  
そこで、子どもたちの安全を目的として、各学校ごとに警備体制がとれるよう教職員や警察官のOB、警備経験者等、警備を目的として、ボランティアを募り、組織化する考えがあるか聞きたい。  
学校教育本部長 国は、公立小学校に対し、登下校時や校内の見回りなどを行う地域ボランティアの組織化を推奨する方針であると聞いている。ま

### 保育所の民営化 選択した理由は

#### 待機児の 解消策として

山口 雅議員 先の厚生委員協議会で、市立保育所2園を平成19年度までに民営化するため、対象となる園と運営する法人の選定を17年度中に行うとする民営化方針が報告された。  
これは、運営のみならず実施責任までも民間に丸投げすること、明らかな公的保育責任の後退であり、何より、そこで生活をしている多くの子どもたちに与える影響は計り知れないと思う。  
そこで、民営化を選択した市の考えを聞きたい。  
子育て支援本部長 民営化を選択した目的は、あくまでも待機児を解消する必要性があること。保育所に入りたくても入れない、入る必要があるのに入れないという状況をなくすことが、子供たちの健全な育成に必要なと判断した。また、現在の財政状況も民営化を選択した理由である。

### 投資的経費増が 市民サービスの削減にならないか

#### サービスの低下を 来さないよう努めていく

た、いくつかの自治体が、こういった組織づくりをしているので、本市としても、先行自治体の情報を収集し、検討していきたい。

目黒 重夫議員 市長2期目の公約で、旧税務署跡地の複合施設などをはじめ、多額の投資的経費が費やされようとしている。一方、基金の有効活用を掲げたにもかかわらず、基金には手をつけていないのが現状である。  
これでは、民間委託や民営化につながり、市民サービスの削減になるのではないかと大変心配している。  
そこで、市は、どのように考えているか。  
財務本部長 本市では、市民福祉の向上を基本姿勢とし、従来から様々な施策を展開してきた。今後も、時代に合った施策を市民に提供する必要があると考える。  
そのためには、限られた財源をより有効に活用することが必要と考え、スクラップアンドビルドを基本とした事務事業の見直しを行い、大規模な投資的経費については、市民サービスに低下を来さないように、事業の進捗よく状況にあわせて財源確保に努めていく。